



令和6年10月31日
11月号 No.465
発行責任者
校長 西村 学徳
所在地 福生市熊川623

子供たちの笑顔と成長を支える応援団！

校長 西村 学徳

先日は、秋の心地よい天候の中、創立150周年記念運動会を無事に終えることができました。スローガンどおり「限界こえて150%」の姿を子供たちは見せてくれました。その姿を多くの皆様にご覧いただけたことを嬉しく思います。子供たちへの応援ありがとうございました。

さて、いよいよ今月は創立150周年記念式典があります。この4月に着任して、校長としてこの周年事業一つ一つを子供たちにとって二小や地域への愛着が深まる機会とし、全ての教育活動がその取組の過程や結果において子供たちの笑顔や成長につながるものにしていくことを大切にしてきました。これまでの教育活動を振り返ると、様々な場面で子供たちの笑顔や成長が見られていると感じています。運動会での子供たちの立派な姿はまさにその一つではなかったかと思えます。そして、その姿は、子供たち自身の頑張りはもちろんのこと、地域の方、保護者の方、教職員等、二小に関わる多くの方の思いや支えがあってこそその姿だと強く感じているところです。

これまで各学年で実施してきた地域学習では、多くの地域の方にお力添えをいただきました。1年生は地域の方との昔遊び、2年生は町たんけん、3年生はお囃子体験、4年生は熊川分水の学習、5・6年生は二小の歴史と未来を考える学習、くまがわ学級は公園への校外学習。どの学習においても地域の方のご支援のおかげで、充実した学習となりました。また、10月9日には、5・6年生の学習のために加藤育男福生市長がお越しください、福生市の歴史、市政で大切にしてきたこと、未来の福生市や子供たちへの思い等、熱く語ってくださいました。子供たちのキラキラした目が印象的で、5・6年生の心に響くお話がたくさんありました。

本校の教職員も子供たちのために何ができるかということの日々考えています。学習や行事等、全ての教育活動で子供たちにどのような力を身に付けさせ、そのためにどのような指導が必要なのかを熱心に話し合っている姿が職員室でも多く見られます。運動会で子供たちを鼓舞する姿にもそれが色濃く出ていたと感じました。

そして、何よりも子供たちの力となっているのが保護者の方からの支えです。今週、多くの子供たちから「運動会のことをお家の人にたくさん褒めてもらえて嬉しかった！」との声を聞きました。

二小の子供たちの笑顔と成長のためには、これからも学校・保護者・地域が手を取り合い、子供たちの一番の応援団であり続けることが大切だと思っています。11月23日の式典では、子供たちの思い、保護者・地域の皆様の思い、教職員の思いを結集させ、素晴らしい式典にしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。